



「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク

月刊

あじenda 10月

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじendaは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です



京のアジェンダ21フォーラム事務所

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

京エコロジーセンター2F 活動支援室内

TEL:075-647-3535

FAX:075-647-3536

E-mail:ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp

開室時間:8時45分～17時30分(木・日休室)

アクセス:京阪電車「藤森」西へ徒歩5分

地下鉄・近鉄「竹田」東へ徒歩13分

市バス・京阪バス「青少年科学センター前」南へすぐ

2009年度
プロジェクト

家庭の省エネルギー対策プロジェクト

第1回「家庭の省エネアドバイザー養成研修会」を開催 —23名が熱心に受講—

フォーラムでは他団体と連携し、区役所・支所、商業施設などで「家庭の省エネ相談所」を開設しています。「家庭の省エネ相談所」とは、市民の皆さんに、日々の暮らしに関するアンケートに記入してもらい、コンピューターで診断して「エコライフ診断書」を発行し、それをもとに、省エネの知識のある「家庭の省エネアドバイザー」が、各家庭に合った省エネのアドバイスをを行うというものです。

2010年度には週に1度は「家庭の省エネ相談所」が市内のどこかで開設されるようになることを目指して、今年度「家庭の省エネアドバイザー養成研修会」を開催しています。9月12日(土)に、その第1回目を開催しました。23名が参加され、熱心に研修を受講されました。

■ ワークショップ形式で開催

「家庭の省エネアドバイザー」として活躍するためには、相談に訪れる市民の皆さんとのコミュニケーションが大切です。研修会は、



【ワークショップ形式で楽しく実施】

講師の岩木啓子さん(ライフデザイン研究所 FLAP 代表)が、受講者のコミュニケーション能力を高めることが期待できるワークショップ(体験型講座)形式で進行了ました。

まず最初に岩木さんが、「家庭の省エネアドバイザー」の役割は何なのか、その役割を果たせるようになるために、この研修で何を学ぶのかについて説明しました。

その後、全員が自己紹介を行いました。研修会に参加した理由について、受講者から「学校のエコ活動に活かしたい」、「孫やシロクマが将来、生きていけるような地球になっているかどうか不安。社会で役に立ちたいと思った」といった話がされました。お互いのことを知ることで、少しずつ受講者の緊張がほぐれていきました。

■ 講義「地球温暖化と省エネ」

次に、鈴木靖文さん(有限会社ひのでやエコライ

フ研究所 代表取締役)が講義「地球温暖化と省エネ」を行いました。家庭からのCO2排出量の内訳はクルマ、給湯、暖房が多く、家電製品の中ではエアコン、冷蔵庫、照明、テレビの割合が高くなっており、こういった分野で省エネに取り組むと、効果的にCO2排出量を削減することができるという説明がされました。また、省エネ家電製品は、購入時は高くても、消費電力が少なくすむため、長期間使い続けると、結局省エネ家電製品を購入するほうが家計にもお得になるということや、使わないときは、照明は1分でも消したほうが良いといった説明がありました。

■ 省エネグッズ、パソコン入力の説明

講義後は、受講者を数人ずつのグループに分け、グループごとに、天野光雄さん(省エネ普及ネット・京都 代表)、山本和仁さん(同 事務局長)、鈴木靖文さん、フォーラム事務局職員が、「省エネ相談所」でいつも市民の皆さんに紹介する電球型蛍光灯(省エネ電球)などの省エネグッズや、パソコンの入力方法の説明を行いました。

受講者の皆さんは、第2回目の研修会終了後、2回の実地研修を経て「家庭の省エネアドバイザー」として認定されます。受講者は皆熱心で、研修会では講師への質問が相次いでいました。今後の活躍が楽しみです。

「北区民環境セミナー」を開催しました ～旬の野菜の地産地消を推進～

9月19日に北区役所にて、環境負荷の少ない食材の選び方を広く区民に知ってもらい推進することを目的に、「北区民環境セミナー 第3回 トークライブ『食材選択グリーン革命』」を開催しました（主催：北区民ふれあい事業実行委員会、北区役所、京のアジェンダ 21 フォーラム）。48名の区民が参加されました。

まず最初にフォーラム事務局職員の進行で、「フードマイレージ（※1）買い物ゲーム」（※2）を実施しました。このゲームは、1970年と現在の食事を比較することで、季節による旬の食材の種類や、高速道路網の発達による産地の変遷の変化、輸入食品の増加による食料自給率の変化などに気付いてもらうワークショップ形式のゲームです。ルールは簡単で、家族4人分の昼食の献立を考えるにあたり、現在と1970年のそれぞれの時代において、食材をどのような交通手段（徒歩・自転車、バス、マイカー）でどの購入先（近所の商店・郊外のスーパー）に行くかを選択すると、排出されるCO₂の量が数値化でき、エコな買い物の仕方を疑似体験することができます。参加者の皆さんは、熱心にワークショップに参加してくださいました。

後半は、太田航平さん（NPO 地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事）がコーディネーターを務め、戸田秀司さん（京都市農業協同組合上賀茂支部支部長）、有川真理子さん（京都グリーン購入ネットワーク、NPO 法人環境市民事務局）による「トークライブ『食材選択グリーン革命』」が行われました。戸田さんは、賀茂ナスやすぐきなどの上賀茂の地元産野菜が、地球温暖化により品質・収量が低

下していること、ハウス栽培では旬の時期に比べて収量も栄養価も半分になることなどを紹介し、参加者に「顔の見える農家が作った、新鮮な旬の野菜を食べてください」と呼びかけをされました。有川さんは、京都グリーン購入ネットワークが行っている、事業所の社員食堂における地産地消推進の取組や、地元産の旬の野菜を選ぶと環境や健康に良く地域活性化にもなること、買い物に環境の視点を入れることの大切さについて話をされました。太田さんは、昨年度、京都・滋賀・奈良の16の学生食堂で全メニューにフードマイレージの表示をしたところ、学生のメニューの選び方に変化があったことなどを報告し、「今日聴かれたみなさんはもちろんのこと、ぜひ今日の話題を周りの人にも伝え、食材の選び方を環境に配慮したものに変えていきましょう」という呼びかけをされました。参加者の皆さんは熱心にトークライブに聴き入っていました。



【フードマイレージ買い物ゲームで、昼食の献立を考える参加者の皆さん】

フォーラムでは今後も様々な主体と連携し、地球温暖化防止のため、旬の野菜の地産地消など環境負荷の少ない食材の購入についての普及啓発を進めていく予定です。

（※1）フードマイレージ

食料を輸入してから消費者の口に入るまでに、食料がどれくらいの距離を運ばれてきたのかを数字で表したものの。輸送距離に重量を乗じた数値（t・km）がフードマイレージとして計算される。

（※2）「フードマイレージ買い物ゲーム」

大阪市にある、あおぞら財団が制作した学習教材セット。貸し出しが可能。

あおぞら財団（財団法人公害地域再生センター） TEL：06-6475-8885 URL <http://www.aozora.or.jp/>

【お願い】フォーラムの年会費について【会費の納入】

日頃は、京のアジェンダ 21 フォーラムの活動にご支援を賜りありがとうございます。

会費納入について、以前にご案内させていただいていますが、納入がまだ確認出来ていない方がいらっしゃいます。

今一度ご確認いただき、未だの場合は下記へご納入いただきますよう、よろしくお願いいたします。なお、今回のお願いと行き違いに会費を納入いただいている場合は、まことに恐れ入りますがご容赦をお願い申し上げます。

【郵便振替】 ゆうちょ銀行 00960-7-143508 京（みやこ）のアジェンダ 21 フォーラム

【銀行振込】 三菱東京 UFJ 銀行 京都支店 普通預金 5468383 京のアジェンダ 21 フォーラム 代表 内藤正明
（ミヤコノアジ エンダ 21 フォーラム タ イヒョウ ナイトウマサアキ）



KES 認証取得事業者の声

株式会社エコロ 21

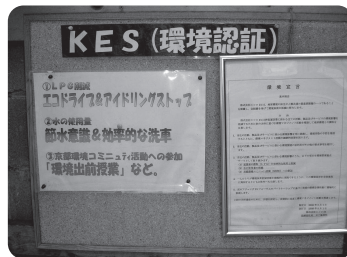
このコーナーでは、KES・環境マネジメントシステム・スタンダード（KES）を認証取得されている事業者の環境取組を紹介します。

今回は、フォーラムの団体会員で、フォーラムの京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクトに熱心にご参加くださっている株式会社エコロ 21 の専務取締役・山沢邦良さんに、寄稿していただきました。

（株）エコロ 21 エコロタクシーの環境の取組



【風車とボンネットの「ECO」の文字が目惹くエコロタクシー】



【駐車場には KES 環境宣言と 3 つの取組を掲示】



【出前環境学習を行う山沢さん】

（株）エコロ 21（エコロタクシー）は、現在 23 台で中京区に営業所を構えております。

今年で創業 7 年目になります。「京都議定書」が誕生した会議が宝ヶ池で終わって間もない 2002 年にタクシー運営の規制緩和があり、旅客事業に参入しました。

創業のコンセプトは、〈これからのタクシー〉ということで、「環境」を念頭に置き、営業車は全車アイドリングストップ機能付き車を導入。この車は、信号待ちの時など、シフトレバーをニュートラルに入れるだけでエンジンが止まり、無駄なアイドリングをストップすることができます。エンジンの再始動も簡単です。

もうひとつは、「自転車搬送サービス」として、自転車を積むことのできる専用キャリアを全車に装着し、いろいろな状況で自転車使用をサポートしています。

3 年前より K E S のステップ 1 の認証を受けました。環境改善項目に昨年からは、京のアジェンダ 21 フォーラムの K E S C（京都環境コミュニティ活動プロジェクト）を入れ、小学校への出前環境授業に参加しております。授業を通じての子供たちとの触れ合いは、楽しさの中で、大人の責任のようなものを教えられる想いがし、止められない感じです。

京のアジェンダ 21 フォーラムが 2007 年より始められた「京グリーン電力証書」は、地域の自然エネルギーへの広がり高める方法として、とても共感できます。

営業上の経費削減と環境活動を、うまく融合させることを目標に、これからも頑張りたいと考えております。

（専務取締役 山沢邦良）



事務局短信

日本の温暖化対策が一步前進し、大幅な削減目標が報じられています。COP15 に向けて、化石賞常連組から抜け出せるのか?期待が高まります。(西本雅則) / まちなかに出ると、すっかり店のショーウィンドーは秋モード。一つ憂鬱なのが、今年もリアル・ファー（毛皮）が大流行だということ。ヨーロッパでは、環境や動物福祉のために売られなくなっているのに、日本はまだまだやなあと思います。(@_@) 頑張れ、ニッポン! (小山直美) / 暑い夏から、季節は秋へ。今年もなんとか【エアコンなしの生活】ができました。電気代節約のために始めた【ケチケチ大作戦】ですが、お財布にも環境にもやさしいなら、無理なく続けられそう...です。(池田周子) / 秋の虫・夏の虫・秋の虫。1 日で音色が変化。今何月?と思う今日この頃。年々秋の季節が短くなり冬の初旬頃が紅葉の見頃となっています。食欲の秋は何処へ?そう言えば最近秋の美味しいものが口に入る事が少なくなりました。うう、ビールのつまみが。(上野かおる) / 「シルバーウィーク」って何か変?! 春はゴールデンウィーク、そして秋は敬老の祝日といった関係でしょうが、シルバー〇〇〇はちょっと馴染めない。日本では将来急速に高齢化が進んでいく中、シルバーと名のつくものが今後ぞくぞくと出て来るのではと思うと空恐ろしい?です。(小西賢人)